

原子力発電所に関する説明会
(事前にいただいた質問一覧)

令和3年3月21日
資源エネルギー庁

○次期エネルギー基本計画に関する質問

質問者	質問内容
1	<p>① 安定供給、電力レジリエンスが叫ばれる中、今冬の需給逼迫は、極めて脆弱な日本のエネルギー情勢を露呈したのですが、これは寒波による暖房需要増という短絡的なものではなく、東日本大震災前約3割の電力比率を有していた原子力発電によるベースロード電源なきまま進めてきた自由化、電力システム改革による供給構造が要因と考えますが、いかがお考えでしょうか。国が進めてきた政策によって、この需給逼迫構造が生じているとすれば尚のこと、根本的・構造的な問題を正確に分析したうえで、次期エネルギー基本計画に反映していくべきではないでしょうか。</p> <p>② 2050カーボンニュートラル、グリーン成長戦略を受けた各産業の取り組み展開、デジタル社会の加速などを踏まえ、今後の電力需要をどのように想定しているのでしょうか。以前(3/4:福井フェニックスプラザ)の資源エネルギー庁からの説明では、複数シナリオの中で、「2050年に需要が30～50%上昇した際において、原子力を20%程度活用していく」との想定もされていることからすれば、小型炉や高温ガス炉のみではなく、さらに安全性を高めた実績ある軽水炉の新增設・リプレースも選択肢として残すことを明確にするべきではないでしょうか(若い技術者に対しても、原子力の将来ビジョンを明確にすることで、技術や人材の継承が可能となるとの観点も含め)。</p>

○原子力政策・核燃料サイクルに関する質問

質問者	質問内容
2	<p>核燃料サイクル事業は、他者の犠牲を前提として行われるもの。立地住民や被曝労働者、そして、未来世代の苦しみを自らの喜びにしてしまうシステムと言えます。人間として愚かだと思いませんか。倫理的に大きな問題があると思いませんか。また、原発推進と脱炭素を結びつけるような論理を恥ずかしいと思いませんか。</p>
3	<p>脱炭素で原発はクリーンだという人がいます。未だに核のゴミの始末が出来ないものをCO2を出さないから良いと判断するのは間違っていると思います。「もんじゅ」失敗でプルトニウムが溜まり、プルサーマルもできないものをどうしますか？</p> <p>原発は経済的でクリーンだという考えは成り立たないということは十分理解しているはずですが。元総理の小泉純一郎さんの「原発ゼロ、やればできる」を読んでください。ドイツも台湾も脱原発に舵を切りました。事故が起こった場合、総理や大臣、規制委員会が総辞職して責任をとった、で済むかも知れませんが、地元住民は孫・曾孫、子々孫々まで苦しみます。本当に責任が取れるのでしょうか？</p>

○原子力発電のコストに関する質問

質問者	質問内容
4	② 3月4日の前回説明会に於いて、貴職は、原発の発電コストと再エネの発電コストに関して、大島教授の発電コストの試算の記事を基に質問された方へ、同教授が、事故の発生確率を倍にしている、データの入手先が違うという回答をされました。そこでお尋ねします。発電コストの算出方法をお示してください。貴職が前回説明会回答の中での指摘のように再エネの価格や、原発の安全対策費等、この5年ですいぶん状況が変化しています。なぜ2015年の発電単価を基に説明なさるのでしょうか？因みに、追加的安全対策費は1基当たりいくらになっていますか？15年の事故対策費用はいくらになっていますか？16年以降の事故対策費はいくらでしょうか？
5	世界的に再生可能エネルギーの価格はどんどん低下しています。一方、廃炉費用をはじめ使用済み核燃料の費用がかさみ原発で作る電気価格では、製造業における製造価格が高騰してグローバル競争に勝てないと思っています。原発でエネルギーを考えるのは間違っていると思うが、考えを変えるべきです。公益とは言え、一民間会社のために住民が故郷を捨てて避難しなければならないなどバカげたことは、直ちにやめるべきだ。国民の安全確保のために「原発の廃炉」を提唱すべきだ。

○原子力政策の情報発信に関する質問

質問者	質問内容
1	③ 原子力発電に対しては、国民の理解をもって進めなければならないとの考えに全くもって異論はありませんが、原子力発電の要否は何故か二項対立構造（100かゼロか）になりやすいと認識しています。こうした状況を回避する意味も込め、我が国が島国で少資源国であるが故の特徴があるからこそ、3E+Sを同時達成する基本的考えに基づいたエネルギーミックスを選択することが生命線であり、客観的視点をもって現実的なエネルギー政策を選択することこそが、豊かで質の高い国民生活と経済・産業の発展につながるものであることを、国が積極的に国民に対し広報、説明していくべきと考えますが、いかがお考えでしょうか（ホームページ掲載などでなく、広く国民の目に届くよう政府広報やTVコマーシャルなどにて）。
6	若狭の原発電力の大消費地は関西圏で、40年を超える危険極まりない老朽原発を動かしてまで電力を送る必要があるのか。大消費地大阪、京都、神戸のみなさんに、キッチンと説明すべきであると思うがどうか。

○原子力発電所の再稼働の手續に関する質問

質問者	質問内容
7	福島事故後、PAZ, UPZの区域には避難計画が義務づけられました。被害はPAZ, UPZの範囲にとどまらないことは福島事故で明らかになっていますが、少なくともPAZ, UPZの住民に対して、原発の再稼働についての同意権を与える法律を制定すべきと思いますが今はありません。何故ですか。避難しなければならない住民の立場に立って同意権を確立した法を制定してください。

○地層処分に関する質問

質問者	質問内容
8	ヨウ素129は、埋めてから漏れ出すことは想定されていないのでしょうか。想定されているのであれば、どのような対策をするのでしょうか。仮に、漏れ出した場合、被ばく線量はどの程度になるのでしょうか。

○再生可能エネルギーの優先的な送電網利用に関する質問

質問者	質問内容
4	① 菅首相が 2050 年カーボンニュートラルを打ち出しグリーン成長戦略を進めようとしています。それには戦略的に再生可能エネルギーの技術革新や安定供給のシステム作りが重要となります。3・11 から 10 年、諸外国では再エネの技術革新が目覚ましく、エネルギー消費量における再エネの比率もみるみる拡大し、日本は周回遅れといわざるを得ません。再エネを最優先に送電網につなげる諸外国の政策が、このような効果をもたらしているのではないのでしょうか？日本もこのような国に倣って、再エネを優先的につなげるシステムづくりが不可欠と思われませんが、いかがでしょうか？